

平成16年度 陵墓関係調査報告

陵墓調査室

調査の概要

当調査室では、「周知の遺跡」となっている陵墓において、保全・整備のための土木工事などを実施するにあたり、施工区域・箇所の変遷・遺物の有無を確認し、工法の決定に資するために事前調査・立会調査を実施している。平成16年度も各陵墓監区事務所や京都事務所などの関係機関と協力し、以下の区域・箇所において調査を行った。その概要を記すことにする。

〔事前調査〕 3件

1 武蔵陵墓地内(東京都八王子市長房町：多摩監区)埋蔵文化財の調査

2月・3月実施、担当：徳田誠志・有馬 伸・加藤一郎

武蔵陵墓地は、昭和天皇陵ほか三陵が所在し、今後とも新陵が營建される可能性の高い箇所である。当地では、今までⅣ次にわたる事前調査を実施しているが、今回Ⅴ次調査を行った。平成17年度以降にも実施する調査と併せて、報告の予定である。

2 雲部陵墓参考地(兵庫県篠山市東本荘：月輪監区)墳塋裾護岸その他整備工事区域の調査

10月～12月実施、担当：徳田誠志・有馬 伸・加藤一郎

報告文は後掲する。

3 黄金塚陵墓参考地(奈良市田中町：畝傍監区)石室前面部の調査

9月実施、担当：清喜裕二・寺本公通・三井朋宏

報告文は後掲する。

〔立会調査〕 30件

4 豊島岡墓地内(東京都文京区大塚五丁目：多摩監区)竹田宮墓内陥没箇所復旧工事箇所の調査

4月実施、担当：徳田誠志・福尾正彦

陵墓地内を巡回中、竹田宮墓地内で陥没箇所が発見された。陥没した箇所を中心に、東西1.0m、南北2.0mのトレンチを設定して掘削した。その結果地表下0.7m付近において地下蔵に通じる縦穴を検出した。この縦穴を地表下約1.7mまで掘削したところ、掘削面から20cmほど上で南側に延びる横穴の入口を検出した。横穴内は空洞になっており、江戸時代の地下蔵であると判断した。出土遺物としては、肥前産の磁器、美濃産の陶器、泥人形等の破片8点が出土した。いずれも18世紀後半から19世紀にかけての時期に属する、日用雑器が中心である。江戸時代における豊島岡墓地は、隣接する護国寺の境内地であり、今回の遺構も護国寺に関連した遺構である可能性が高いように思われる。調査終了後は、埋め戻した。豊島岡墓地は周知の遺跡とはなっていなかったが、竹田宮墓地はこのことにより東京都教育委員会により平成17年12月20日をもって、周知の遺跡に認定されることになった。

5 豊島岡墓地(東京都文京区大塚五丁目：多摩監区)参集所ガス管理設替え工事箇所の調査

11月実施、担当：徳田誠志

掘削箇所は、過去に駐車場として整備された部分である。掘削箇所は過去の埋め戻し土であり、江戸時代以前に遡るような遺構・遺物は出土しなかった。

6 明治天皇伏見桃山陵(京都市伏見区桃山町古城山：桃山監区)一般拝所正面駒寄改修工事箇所の調査

8月・9月実施、担当：福富 彰・宮田一弘

掘削箇所の土層は、既設駒寄施工の際の埋め戻し土であった。遺物も検出されなかった。

7 北川陵墓参考地(宮崎県東臼杵郡北川町大字長井：桃山監区)冠木門改修工事箇所の調査

- 2月実施、担当：岡田眞智子
遠隔地であるため、北川町教育委員会および宮崎県教育委員会の協力を得て、掘削に立ち会った。遺構、遺物は検出されなかった。
- 8 桃山陵墓地(京都市伏見区桃山町：桃山監区)ほか林相整備工事区域の調査
2月実施、担当：瀬尾義弘・平尾伸也
桃山陵墓地において、竹根防止のための掘削(深さ約60cm)に立ち会った。腐植土・攪乱土の下位は粘質土などの地山であった。遺構、遺物は検出されなかった。
- 9 月輪陵墓監区事務所(京都市東山区今熊野山内町：月輪監区)水銀灯修繕工事箇所の調査
9月実施、担当：今出伸一・田端勝一
掘削箇所は、現事務所建設や駐車場整備時の盛土・整地土と考えられた。遺構や遺物は検出されなかった。
- 10 後堀河天皇観音寺陵(京都市東山区今熊野泉山町 泉涌寺内：月輪監区)鳥居改築工事箇所の調査
10月実施、担当：今出伸一・田端勝一
4層が確認された。上位2層は、拝所の盛土と表面の白砂層である。下位2層は、下層が堅緻な粘質土で地山と考えられるが、上層は軟質で、盛土の可能性が高い。遺構・遺物は検出されなかった。
- 11 尊称太皇太后順子後山階陵(京都市山科区御陵沢ノ川町：月輪監区)鳥居改築工事箇所の調査
10月実施、担当：鎌田幹史・寺岡慎太郎
3層が確認された。上層は表土で、中・下層は茶褐色粘質土である。中層は砂が多く含まれ、下層は砂が少ない点で区別される。均質な土であり、地山の可能性が考えられる。遺構・遺物は検出されなかった。
- 12 後鳥羽天皇火葬塚(鳥根県隠岐郡海士町大字海士：月輪監区)風倒木復旧整備工事箇所の調査
11月実施、担当：清喜裕二
報告文は後掲する。
- 13 二條天皇香隆寺陵(京都市北区平野八丁柳町：月輪監区)見張所改築工事箇所の調査
12月実施、担当：清喜裕二・藤原雅人・鎌谷幸一
報告文は後掲する。
- 14 四條天皇月輪陵(京都市東山区今熊野泉山町 泉涌寺内：月輪監区)以下築地塀改築工事区域の調査
11月・12月・2月実施、担当：奥野 肇・米谷有朋
平成13年度から開始された4ヶ年計画の最終年度にあたる。今回は南側から西側部分の築地塀、および西側に位置する透塀の改築に伴う掘削などに立ち会った。今年度の調査では地山は認められず、大半は従前の掘削に伴う盛土であった。遺物として燻瓦3片が採集された。盛土内に混入したものであり、遺構に伴うものとは思われない。
- 15 賀陽宮墓(京都市上京区射場町 報恩寺内：月輪監区)正面鉄扉修繕その他工事箇所の立会調査
3月実施、担当：坂部泰生・藤原雅人
既設石柱の基礎石を検出。掘削はその下位には及ばず、土層は従前の掘削に伴う盛土であった。遺物は出土していない。
- 16 孝昭天皇掖上博多山上陵(奈良県御所市大字三室：畝傍監区)見張所改築工事箇所の調査
12月実施、担当：加藤一郎・濱本厚志・安岡徹悦
報告文は後掲する。
- 17 大碓命墓(愛知県豊田市猿投町鷲取 猿投神社内：畝傍監区)鳥居新築工事箇所の調査
1月実施、担当：清喜裕二・山本昌弘・古谷拓也
報告文は後掲する。
- 18 神功皇后狭城盾列池上陵(奈良市山陵町：畝傍監区)整備工事区域の調査

- 2月実施、担当：清喜裕二・西村悦二・今井隆太郎・仲田裕行
報告文は後掲する。
- 19 吉備姫王墓(奈良県高市郡明日香村大字平田：畝傍監区)特別・一般拝所整備工事箇所の調査
8月～10月実施、担当：南 義孝・濱本厚志
特別拝所・一般拝所ほぼ全域の舗装に伴う掘削、および入口部の擬木車止め基礎部分の掘削に立ち会った。擬木車止め設置箇所のおよそG. L. -cmで茶褐色粘質土を確認。周辺地形から地山と考えられる。そのほかの掘削部分は、拝所造成土内に止まった。遺構や遺物は検出されなかった。
- 20 舒明天皇陵(奈良県桜井市大字忍阪：畝傍監区)参道整備工事箇所の調査
9月・10月実施、担当：本多 均・大塚由之
参道西側見張所裏の石積を撤去し、擁壁を設けるための掘削に立ち会った。土層は旧石積裏込め土および近年の盛土と見られた。遺構・遺物は検出されていない。
- 21 孝元天皇陵(奈良県橿原市石川町：畝傍監区)防災整備工事区域の調査
11月～1月実施、担当：野上修也・上原孝浩
剣池の参道入口部付近に接する箇所に護岸工事を実施することになり、掘削に立ち会った。一部では最下層に青灰色粘質土層が見られ、剣池もしくは水田面を埋め立て、造成したものと考えられた。また、北側部分については最下層に地山層である花崗岩起源のバイラン土層があり、それより上層は自然堆積土もしくは旧石垣設置時の造成土と思われた。遺構・遺物の検出はなかった。
- 22 神武天皇陵(奈良県橿原市大久保町：畝傍監区)駐車場整備工事箇所の調査
2月実施、担当：野上修也・濱田武典
掘削箇所のほとんどの部分は、既設水路および駐車場整備時の造成土と思われる。一部掘削箇所下層において青灰色～黄褐色の粘質土が認められ、敷地造成以前の水田に関わるものの可能性がある。遺構や遺物の検出はなかった。
- 23 神武天皇陵附属地内(奈良県橿原市大久保町：畝傍監区)水路改修工事箇所の調査
3月実施、担当：野上修也・濱田武典
本工事は四条土地改良区が実施するものであるが、該所は当庁所管地ではあるため、掘削に立ち会ったものである。遺構や遺物の出土はなかった。
- 24 孝霊天皇陵(奈良県北葛城郡王寺町本町3丁目：畝傍監区)下水道管接続その他整備工事箇所の調査
3月実施、担当：安岡徹悦・徳永真明
掘削部分はすべて既掘部分であり、遺構・遺物は認められなかった。
- 25 佐紀部見張所(奈良市山陵町：畝傍監区)電気設備その他改修工事箇所の調査
3月実施、担当：石塚俊光・三井朋宏
成務天皇狭城盾列池後陵の前方部側外堤の西隅と東隅付近それぞれの掘削に立ち会った。西隅部分では、表土下に盛土崩落土、外堤盛土、地山が見られ、盛土崩落土層中から埴輪片が出土した。東隅付近では整地土、外堤盛土とおぼしき土層、地山が認められた。
- 26 奈良部見張所(奈良市油阪町：畝傍監区)電気設備その他改修工事箇所の調査
3月実施、担当：寺本公通・長濱匡洋
掘削は、開化天皇春日率川坂上陵に所在する見張所および既設給水管設置時の埋戻し土中にとどまった。
- 27 雄略天皇陵飛地い号(大阪府羽曳野市島泉8丁目：古市監区)フェンス扉設置工事箇所の調査
6月実施、担当：松尾 浩・古河稔也
掘削は後世の整地層内にとどまった。
- 28 敏達天皇陵(大阪府南河内郡太子町大字太子：古市監区)鳥居改築工事箇所の立会調査
10月実施、担当：小谷武史・堂園雅章

基礎部2箇所の掘削では、ともに旧鳥居の掘方を確認した。表土、拝所の整地層、旧表土などが認められ、比較的浅いところ(G. L. -0.3m)で地山が確認された。旧鳥居の基礎は地山を大きく掘り込んでいた。

29 仁徳天皇陵(大阪府堺市大仙町：古市監区)外構柵整備工事箇所の調査

1月～3月実施、担当：多田京介・井上 武・川添 悟・須藤周太

基礎設置箇所(225箇所)の掘削に立ち会った。大半の掘削箇所では、掘削は後世の整地層内におさまった。ただし、一部のトレンチ(前方部西側面、陪冢に号：銅亀山古墳(円墳)に面したところ)では地山の可能性がある茶褐色砂質土層が検出された。遺構・遺物は認められなかった。

30 仁徳天皇陵飛地ほ号(菰山古墳、大阪府堺市南丸保園：古市監区)コンクリート擁壁設置その他整備工事箇所の調査

1月・3月実施、担当：多田京介・井上 武・川添 悟・須藤周太

報告文は後掲する。

31 反正天皇陵(大阪府堺市北三国ヶ丘町2丁：古市監区)外構柵整備工事箇所の調査

1月実施、担当：多田京介・井上 武・川添 悟・須藤周太

南側境界沿外構柵設置箇所の基礎部の掘削・埋め戻し時に立ち会った。該所は昭和55年度に事前調査しているところである。その際には地山はG. L. -約0.5mで確認されている。今回の掘削深度ではそこまでは達せず、後世の整地層内にとどまった。遺構・遺物は認められなかった。

32 応神天皇皇后仲姫命仲津山陵(大阪府藤井寺市沢田4丁目：古市監区)外構柵整備工事箇所の調査

2月・3月実施、担当：小走直敬・近藤時男・笹尾佳裕

拝所北側の外堤上の掘削・埋め戻し時に立ち会った。調査箇所は境界沿いのため、隣接地の住宅基礎、ブロック塀基礎等々の工事で攪乱を受けていた。ただし、一部では、上面は削平されているものの、地山あるいは地山起源の盛土と考えられる外堤の面を検出した。調査箇所付近では、当庁管理地外で埴輪列が検出されていることもあり、より慎重を期したが、関連する遺構遺物は確認できなかった。

33 安閑天皇陵(大阪府羽曳野市古市5丁目：古市監区)外堤フェンス設置工事箇所の調査

3月実施、担当：清喜裕二・加藤一郎・小走直敬・近藤時男・笹尾佳裕

拝所南側の外堤上の掘削・埋め戻し時に立ち会った。調査箇所は拝所整備時に掘削されたのちに盛土をしたものと判断された。土師器のごく小片1点が出土している。

また、平成16年度には以下のような調査も実施した。

〔墳丘調査〕 1件

34 聖徳太子磯長墓(大阪府南河内郡太子町太子 叡福寺内)

3月実施、担当：清喜裕二・加藤一郎

下段「結界石」の銘文調査および写真撮影、さらには御霊屋内の燈籠等の現状調査をおこなった。

〔文献調査〕 1件

35 奈良県立奈良図書館(奈良県奈良市登大路町)保管資料の調査

3月実施、担当：北條朝彦

奈良県立奈良図書館が保管している陵墓関係資料のうち、『社寺及御陵墓ニ関スル書類』などの調査を実施した。